

..... 編集後記

◆音波探査断面に解釈した線(層序や断層など)を書き入れると、一般の人にも理解してもらえますが、ただの記録断面だとそうはいきません。また逆に解釈線を書き入れると、どうしてそう書けるのかと、よく問われます。机にはいつくばって(音波探査断面を解釈している光景を見たことがある人ならわかるはず)眺めると、よく見えてくるなんて言う人もいて・・・まさに音波探査記録断面の解釈は野外踏査と似ています。おそらく地質ニュースの多くの読者の方々は、野外踏査の経験があるでしょうから、はうようにして進み、じっと露頭を眺めて、その地史の解釈に何時間も露頭の前に立っていた経験があるのではないのでしょうか? 学生時代に指導教官と露頭に行き、「何で自分には見えないのだろう」というような経験を何度もしているのではないのでしょうか。やはり地質屋には経験と洞察力が必要であるとつくづく思います。その地質屋が、音波探査記録断面を眺めれば、やはり泥臭くなってしまうのでしょうか? 露頭でも音波探査記録でも、解釈する人によってその結果は異なるのは当然。解釈する人のフィロソフィーが示されることが重要であると思います。

◆今回の特集号では、日本列島周辺海域を统一的に解釈して、特に600万年以降の地史についてまとめようというものです。多くの研究者が携わり、異なるデータ品質の音波探査記録断面を解釈して、统一的な解釈をしようというのですから、考えてみると非常に困難なことなのです。しかしこの困難な仕事を成し遂げる価値は、考えるまでもなく十分重要的な仕事です。ですから今回参加した研究者の方々は、実際に作業するに当たり、「合宿」を行い、なるべく短期間に集中して、他の人と議論しながらアイデアを

まとめました。これにより担当した海域のすりあわせや、記録の解釈の基準など、できる限り統一するようにしました。露頭にグループで行って議論する、つまり巡検のようなことを行ったわけです。これによりデータの品質の違いや、調査密度の違いによる不均質さを乗り越えて、统一的な編集作業ができたのではないかと思います。

◆既存データを用いて、统一的な解釈の基に構造図がまとめあがったのは、大変うれしいことです。ただこれも1つの解釈マップであって、今後の調査や新しいアイデアという新たな「刀」で切れれば、また違った切り口を示すのでしょう。しかし確実に進歩していくためには、重要な1歩を歩んだのではないかと思います。「地質ニュース」の読者の方々には、机の上で行う露頭調査もあるということを知っていただき、広大な海域に秘められた地質ロマンを、本特集号で堪能していただけたら幸いです。

(倉本真一)

◆本年6月7日、「ライマン雑記」の著者、副見恭子さんがつくば市を訪ねて下さいました。昼食をご一緒し、ライマンのコレクションにまつわるあれこれ、アメリカ大統領から東京都知事にいたる人物評等々、幅広いお話しをお伺いいたしました。副見さんが最初にライマンコレクションを目にされたとき、それが随分粗雑に扱われていたこと、副見さんご自身があわれた日本人差別等、憤慨されながらお話しされておられました。もの静かな雰囲気の中に、力強い一本の筋を感じさせられました。本号の「その17」では、ライマンの助手たちのうち島田純一、西山正吾について紹介しつつ、彼らとの交流を通じてライマンの思想の一端が語られています。

(湯浅真人)

地質ニュース編集委員会

委員長：湯浅真人

副委員長：石井武政

委員：星住英夫・飯笹幸吉・七山 太・佐々木宗建
 佐藤興平・大熊茂雄・石塚 治・木下泰正・
 中野 司・遠藤祐二

事務局：総務部業務課広報係(河村幸男・渡辺光次)
 〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-3
 地質調査所 地質ニュース編集委員会
 事務局 Tel. 0298-54-3520
 Fax. 0298-54-3504

| | | | |
|-----------|---------------------------|-------|-----|
| 地質ニュース | 第541号 | 1999年 | 9月号 |
| | 定価¥785(本体価格¥748) | 〒実費 | |
| 1999年9月1日 | 発行 | | |
| 編集 | 工業技術院地質調査所 | | |
| 発行人 | 株式会社 実業公報社 | | |
| | 代表者 林 光生 | | |
| 発行所 | 株式会社 実業公報社 | | |
| | 東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073 | | |
| | Tel. (03) 3265-0951(代表) | | |
| | Fax. (03) 3265-0952 | | |
| | 振替口座 00110-6-32466 | | |
| | 麹町局私書箱第21号 | | |
| 印刷 | 株式会社 エアフォルク | | |

© 1999 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンター
 およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してありま
 す。また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ